

コミュニティバスの導入を

阿南育子 議員

質問 車の運転ができない方、高齢者、障害を抱えた方、幼児がいる方にとって買い物や、病院に行くなど日常生活で市内を自由に移動できる手段が整っていない現実がある。福祉交通網の検討も進められているが、生活交通対策について伺いたい。

市長 コミュニティーバス導入の大きな阻害要因は乗車人数が少ないと想定され、相当の費用負担が見込まれることである。自家用車での高齢者有償移送が可能になるなど、社

会的にも福祉交通網整備が進められているので、既存の交通手段の活用も含め当市にあった福祉交通網の検討を進め、実現していきたい。



▲コミュニティバスのイラスト

一般質問

(要旨)

市政のここが聞きたい

改選後、初めての今回の定例会は、19人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり市長にたどしました。質問の概略の掲載は一問とさせていただきます3~5ページに掲載しました。一般質問の項目は6ページにすべて掲載させていただきます。詳しくは、8月下旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館でご覧いただくか、福生市のホームページからご覧ください。なお、この一般質問の内容は、質問議員に確認しています。

福祉交通網検討 進み具合は

堀 雄一郎 議員

質問 生活の不便を訴える高齢者を中心とした交通弱者は増加の一途である。市は調査・検討、市民要望等を踏まえ福祉交通網の整備・導入に入っているとのことだが、どこまで具体的に進んでいるのか伺いたい。

市長 社会的に整備が進む有償移送サービス事業に行政として可能な支援に取り組み、また介護タクシー等の活用についてタクシー事業者と今後も意見交換をしていく。他自治体も公共交通の状況や課題から種々

取り組んでいる中、当市にあった福祉交通網を検討しており、試行実施の検証が必要と考え進めている。



▲介護タクシー

AED(自動体外除細動器)その設置状況は

増田俊一 議員

質問 心肺停止状態に陥った場合、救命は時間との戦いになるが、AEDの出現で一般の人も人の命を助けることが可能になった。操作は簡単で安全性も確立され、公共施設等に設置が広がっているが、当市の設置状況とその普及啓発について伺いたい。

市長 平成17年度に市民の寄附や都補助金等で、本庁舎ほか小・中学校等主要施設に25台設置し、公共施設以外でも3カ所に設置された。市職員、体育関係者等へは救命講習会

を実施し取り扱いを習得させ、また市営プール従業者にも必ず講習会を実施し設置場所の確認もしている。



▲市役所1階受付付近に設置のAED

四小付近のスクールゾーンについて

田村正秋 議員

質問 四小南側の通学路は朝晩多くの利用者があるが、神明社から青山医院にかけてはスクールゾーンになっておらず、時速50キロを出す車もいてマナーが悪く危険である。PTAが見守りをしているが、スクールゾーンへの検討はなされているのか、その見込みはどうか。

教育長 以前から学校及びPTAから指定要望がある道路で、平成18年12月に市長から福生警察署に指定要望をし、運転者には注意喚起の懸

垂幕を電柱に掲出している。スクールゾーン指定は都公安委員会で決定されるので、その決定待ちである。



▲福生神明社付近の通学路

児童館 指定管理者制度移行後の状況は

大野 聡 議員

質問 本年4月から児童館の運営形態が指定管理者制度に移行され、2カ月経過したが、移行後の運営内容、体制と、学童クラブの時間延長制度の状況について伺いたい。

市長 新たに日曜日開館と平日の利用時間延長の拡大運営をしており、4月の日曜日は3館合計延べ380人、平日の時間延長では3館延べ27人の利用があった。指定管理者からは、子どもたちの遊びも広がり利用もふえ、好評との報告がある。また、学童ク

ラブの時間延長は保護者に使用料がかかるが、朝30分夕方1時間延長し、4月は延べ20人の利用があった。



▲指定管理者へ移行した熊川児童館

ドクターヘリ その配備は

原田 剛 議員

質問 ドクターヘリの利点は、交通渋滞の影響を受けずに直線で移動するため移動時間が短いので、救急車に比べ救命率が高く、重症化が防げるなどのメリットがあるが、国の整備計画に対する考え方、また公立福生病院への配備に向けた考え方を伺いたい。

市長 今国会でも配備に向けた法案が審議されており、非常に必要性が高いものと認識しているが、ドクターヘリは第三次の救急医療機関が

担うもので、福生病院は第二次救急医療機関であり、取り組みは予定されていない。



▲ドクターヘリ

圏央道開通 その影響は

田村昌巳 議員

質問 中央道の八王子ジャンクションまで開通する圏央道により、市内の主要道路等への混雑を含めた使用状況の影響と、通過点となる市内の経済効果について伺いたい。

市長 16号線の交通量が減少、騒音、排気ガス量は削減すると思うが、交通量の増減については判断材料がないので、開通前後の調査を主要交差点で実施したい。抜け道対策等は推移を見つつ対策を講じたい。幹線道路のネットワーク化で経済の発展、

生活の利便性が向上するので、街の活性化による地域の魅力等いろいろな形の効果をもたらすと見ている。



▲圏央道開通式 (H19.6.23)